

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
410024	XYY2410024			国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
情報システム演習 (D 分野) 2年 J1	中田 豊久	1	後期	情報文化学部情報文化学科	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース (26 年度以降)	専門	必修	1 年
				情報文化学部情報システム学科情報コース (26 年度以降)	専門	必修	1 年
				情報文化学部情報システム学科経営コース (25 年度)	専門	必修	1 年
				情報文化学部情報システム学科情報コース (25 年度)	専門	必修	1 年
				情報文化学部情報システム学科 (24 年度以前)	×	×	×

授業目的

情報システム演習は、各自が主体的に「情報システム」を創造し、または情報システムを活用し、情報を創造するために必要になるであろう基礎的な方法・概念の取得を目的とした演習である。

情報システム演習 (D 分野) では、D 分野である「コンピュータと通信」の分野で必要となる、情報システムを開発するために必要なコンピュータと通信技術について、Web サイト作成を通して基礎的な内容を具体的に学習する。

まず、Web の仕組みを理解し、実際に HTML とスタイルシート (CSS) を用いて Web ページを作成する手法を学習する。続いて、JavaScript によるプログラミングを取り入れた Web サイト作成を行う。さらにフォームを用いた Web サイト作成についても学習する。

各回毎の授業内容

第 1 回

【授】1 年前期・2 年前期は全体で SPI 模擬試験を行なう。2 年後期は研究室配属に関する説明会を行なう。

【前・後】事前：SPI の教科書を購入する。事後：各自で復習する（1 時間）。

第 2 回

【授】オリエンテーション：WWW について、Web 作成方法について、期末レポート・Web サイト作成の提示

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 3 回

【授】HTML(1)：HTML の説明、基本タグの使い方

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 4 回

【授】HTML(2)：リンクの作成、画像の表示、テーブルの作成

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 5 回

【授】CSS(1)：CSS の説明、基本的なスタイルの使い方

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 6 回

【授】CSS(2)：span と div タグ

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 7 回

【授】CSS(3)：id と class

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 8 回

【授】JavaScript(1)：JavaScript の説明、プログラミングの基礎の説明

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。

第 9 回

【授】JavaScript(2)：分岐と繰返し

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 10 回

【授】JavaScript(3)：関数とイベント

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 11 回

【授】JavaScript(4)：応用、まとめ

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 12 回

【授】フォーム(1)：フォームの説明、フォームの作り方

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 13 回

【授】フォーム(2)：JavaScript からフォームの利用

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 14 回

【授】Web サイト作成：これまで学習した内容をふまえ、各自で Web サイトを作成する

【前・後】事前：各自 Web サイトの構想を考える。事後：各自の Web サイトを完成させる。合計 1 時間。

第 15 回

【授】作成した Web サイトの発表：各自で作成した Web サイトを発表する。説明を記述したレポートを提出する

【前・後】事前：発表の準備。レポート作成。1 時間。

第 16 回

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート	10	10	5		5		30
宿題・授業外レポート	5	5	5		5		20
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）	5	5	5		5		20
演習	10	10	10				30
その他							

毎回演習時に提出する課題の評価 (60%)、作成した Web サイトの説明を記述したレポートの評価 (20%)、作成した Web サイトの評価 (20%) (技術、デザイン、独創性の観点から評価する)

前回の課題については次回に解説を行い、講評する。

作成した Web サイトについてもポータル等で講評を行う。

教科書参考書

1 年後期の第 1 回演習時にテキストを配布する。2 年次も使用するので大事に扱うこと。

受講に当たっての留意事項

・ 演習に出席しなければ、成績評価の対象とならない

・ 受講学生の理解度により講義の順番（日程）や分量を調整することがある

学習到達目標

1) 情報システムを分析し、設計するためのさまざまな手法を使って、問題解決に応用できるデザイン能力を身につける（レポートおよび作成した Web サイトにより評価）

2) 情報システムを有効に活用するための基礎的な考え方を、演習を通して身につける（演習時に提出する課題により評価）

JABEE

関連する学習・教育到達目標：E

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
410024	XYY2410024			国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
情報システム演習 (D 分野) 2年 J2	近藤 進	1	後期	情報文化学部情報文化学科	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース (26 年度以降)	専門	必修	1 年
				情報文化学部情報システム学科情報コース (26 年度以降)	専門	必修	1 年
				情報文化学部情報システム学科経営コース (25 年度)	専門	必修	1 年
				情報文化学部情報システム学科情報コース (25 年度)	専門	必修	1 年
				情報文化学部情報システム学科 (24 年度以前)	×	×	×

授業目的

情報システム演習は、各自が主体的に「情報システム」を創造し、または情報システムを活用し、情報を創造するために必要になるであろう基礎的な方法・概念の取得を目的とした演習である。

情報システム演習 (D 分野) では、D 分野である「コンピュータと通信」の分野で必要となる、情報システムを開発するために必要なコンピュータと通信技術について、Web サイト作成を通して基礎的な内容を具体的に学習する。

まず、Web の仕組みを理解し、実際に HTML とスタイルシート (CSS) を用いて Web ページを作成する手法を学習する。続いて、JavaScript によるプログラミングを取り入れた Web サイト作成を行う。さらにフォームを用いた Web サイト作成についても学習する。

各回毎の授業内容

第 1 回

【授】1 年前期・2 年前期は全体で SPI 模擬試験を行なう。2 年後期は研究室配属に関する説明会を行なう。

【前・後】事前：SPI の教科書を購入する。事後：各自で復習する（1 時間）。

第 2 回

【授】オリエンテーション：WWW について、Web 作成方法について、期末レポート・Web サイト作成の提示

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 3 回

【授】HTML(1)：HTML の説明、基本タグの使い方

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 4 回

【授】HTML(2)：リンクの作成、画像の表示、テーブルの作成

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 5 回

【授】CSS(1)：CSS の説明、基本的なスタイルの使い方

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 6 回

【授】CSS(2)：span と div タグ

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 7 回

【授】CSS(3)：id と class

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 8 回

【授】JavaScript(1)：JavaScript の説明、プログラミングの基礎の説明

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。

第 9 回

【授】JavaScript(2)：分岐と繰返し

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 10 回

【授】JavaScript(3)：関数とイベント

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 11 回

【授】JavaScript(4)：応用、まとめ

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 12 回

【授】フォーム(1)：フォームの説明、フォームの作り方

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 13 回

【授】フォーム(2)：JavaScript からフォームの利用

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 14 回

【授】Web サイト作成：これまで学習した内容をふまえ、各自で Web サイトを作成する

【前・後】事前：各自 Web サイトの構想を考える。事後：各自の Web サイトを完成させる。合計 1 時間。

第 15 回

【授】作成した Web サイトの発表：各自で作成した Web サイトを発表する。説明を記述したレポートを提出する

【前・後】事前：発表の準備。レポート作成。1 時間。

第 16 回

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート	10	10	5		5		30
宿題・授業外レポート	5	5	5		5		20
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）	5	5	5		5		20
演習	10	10	10				30
その他							

毎回演習時に提出する課題の評価 (60%)、作成した Web サイトの説明を記述したレポートの評価 (20%)、作成した Web サイトの評価 (20%) (技術、デザイン、独創性の観点から評価する)

前回の課題については次回に解説を行い、講評する。

作成した Web サイトについてもポータル等で講評を行う。

教科書参考書

1 年後期の第 1 回演習時にテキストを配布する。2 年次も使用するので大事に扱うこと。

受講に当たっての留意事項

・ 演習に出席しなければ、成績評価の対象とならない

・ 受講学生の理解度により講義の順番（日程）や分量を調整することがある

学習到達目標

1) 情報システムを分析し、設計するためのさまざまな手法を使って、問題解決に応用できるデザイン能力を身につける（レポートおよび作成した Web サイトにより評価）

2) 情報システムを有効に活用するための基礎的な考え方を、演習を通して身につける（演習時に提出する課題により評価）

JABEE

関連する学習・教育到達目標：E

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
410024	XYY2410024			国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
情報システム演習 (D 分野) 2年 J3	河原 和好	1	後期	情報文化学部情報文化学科	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース (26 年度以降)	専門	必修	1 年
				情報文化学部情報システム学科情報コース (26 年度以降)	専門	必修	1 年
				情報文化学部情報システム学科経営コース (25 年度)	専門	必修	1 年
				情報文化学部情報システム学科情報コース (25 年度)	専門	必修	1 年
				情報文化学部情報システム学科 (24 年度以前)	×	×	×

授業目的

情報システム演習は、各自が主体的に「情報システム」を創造し、または情報システムを活用し、情報を創造するために必要になるであろう基礎的な方法・概念の取得を目的とした演習である。

情報システム演習 (D 分野) では、D 分野である「コンピュータと通信」の分野で必要となる、情報システムを開発するために必要なコンピュータと通信技術について、Web サイト作成を通して基礎的な内容を具体的に学習する。

まず、Web の仕組みを理解し、実際に HTML とスタイルシート (CSS) を用いて Web ページを作成する手法を学習する。続いて、JavaScript によるプログラミングを取り入れた Web サイト作成を行う。さらにフォームを用いた Web サイト作成についても学習する。

各回毎の授業内容

第 1 回

【授】1 年前期・2 年前期は全体で SPI 模擬試験を行なう。2 年後期は研究室配属に関する説明会を行なう。

【前・後】事前：SPI の教科書を購入する。事後：各自で復習する（1 時間）。

第 2 回

【授】オリエンテーション：WWW について、Web 作成方法について、期末レポート・Web サイト作成の提示

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 3 回

【授】HTML(1)：HTML の説明、基本タグの使い方

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 4 回

【授】HTML(2)：リンクの作成、画像の表示、テーブルの作成

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 5 回

【授】CSS(1)：CSS の説明、基本的なスタイルの使い方

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 6 回

【授】CSS(2)：span と div タグ

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 7 回

【授】CSS(3)：id と class

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 8 回

【授】JavaScript(1)：JavaScript の説明、プログラミングの基礎の説明

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。

第 9 回

【授】JavaScript(2)：分岐と繰返し

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 10 回

【授】JavaScript(3)：関数とイベント

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 11 回

【授】JavaScript(4)：応用、まとめ

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 12 回

【授】フォーム(1)：フォームの説明、フォームの作り方

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 13 回

【授】フォーム(2)：JavaScript からフォームの利用

【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 14 回

【授】Web サイト作成：これまで学習した内容をふまえ、各自で Web サイトを作成する

【前・後】事前：各自 Web サイトの構想を考える。事後：各自の Web サイトを完成させる。合計 1 時間。

第 15 回

【授】作成した Web サイトの発表：各自で作成した Web サイトを発表する。説明を記述したレポートを提出する

【前・後】事前：発表の準備。レポート作成。1 時間。

第 16 回

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート	10	10	5		5		30
宿題・授業外レポート	5	5	5		5		20
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）	5	5	5		5		20
演習	10	10	10				30
その他							

毎回演習時に提出する課題の評価 (60%)、作成した Web サイトの説明を記述したレポートの評価 (20%)、作成した Web サイトの評価 (20%) (技術、デザイン、独創性の観点から評価する)

前回の課題については次回に解説を行い、講評する。

作成した Web サイトについてもポータル等で講評を行う。

教科書参考書

1 年後期の第 1 回演習時にテキストを配布する。2 年次も使用するので大事に扱うこと。

受講に当たっての留意事項

・ 演習に出席しなければ、成績評価の対象とならない

・ 受講学生の理解度により講義の順番（日程）や分量を調整することがある

学習到達目標

1) 情報システムを分析し、設計するためのさまざまな手法を使って、問題解決に応用できるデザイン能力を身につける（レポートおよび作成した Web サイトにより評価）

2) 情報システムを有効に活用するための基礎的な考え方を、演習を通して身につける（演習時に提出する課題により評価）

JABEE

関連する学習・教育到達目標：E

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習